

令和4年度大学院入学試験事前課題
(前期募集)

教育実践高度化専攻

教科教育・教科複合実践研究コース

(芸術創造領域 音楽分野)

注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した1科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 解答用紙のみ返送する。なお、問題用紙は回収しない。

問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

◎ 音楽教育学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」「第6節 音楽」「第3指導計画の作成と内容の取扱い」の2(1)には「エ 児童が学校内及び公共施設などの学校外における音楽活動とのつながりを意識できるようにするなど、児童や学校、地域の実態に応じ、生活や社会の中の音や音楽と主体的に関わっていくことができるよう配慮すること。」とある。

上記の「学校外における音楽活動とのつながり」について、子どもが意識できるようにするには、音楽科の授業で具体的にどうすればよいか。指導事例とともにあなたの考えを述べなさい。なお、校種は小学校に限定しなくてもよい。

◎ 声楽

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」「第6節 音楽」には、教科の目標の一つとして「曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。」とある。歌唱において「技能」とは具体的には何を指すか、歌唱における「技能」について、その項目を具体的に挙げるとともに、その必要性について述べ、さらに授業場面においてどのように取り組んでいくべきなのか、あなたの考えを述べなさい。

◎ 器楽

学校現場で器楽指導を行う際、あなたが持っている音楽的スキルをどのように活用できるか述べなさい。なお、校種は自由に設定してよい。

◎ 作曲

授業で音楽づくりの活動を行っている際、子どもたちが作っている過程でどのような働きかけが必要と思うか述べなさい。この「音楽づくり」は、具体的に音符を書くような活動から、提示されたリズムのパターンを並べるような活動まで含む。

◎ 音楽学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」「第6節 音楽」「第3指導計画の作成と内容の取扱い」の2(3)には「我が国や郷土の音楽の指導に当たっては、そのよさなどを感じ取って表現したり鑑賞したりできるよう、音源や楽譜等の示し方、伴奏の仕方、曲に合った歌い方や楽器の演奏の指導などの指導方法を工夫すること。」とある。

「我が国や郷土の音楽」の「よさなどを感じ取って表現したり鑑賞したりできるよう」な「指導方法」とは、どのようなものが考えられるか。具体例を挙げ、あなたの考えを述べなさい。